

令和3年度 公営企業局(公営企業会計)主要事業
(水道・工業用水道・下水道・モーターボート競走事業)

令和3年2月
尼崎市公営企業局

公営企業局の各事業は、次に記載のビジョン、経営計画に基づき施策を実施していきます。

水道・工業用水道事業 ……「あますいビジョン2029」（令和2～11年度）

下水道事業 ……「尼崎市下水道中期ビジョン」（後半計画：平成29年度～令和3年度）

モーターボート競走事業 ……「尼崎市ボートレース事業経営計画」（令和1～5年度）

主要事業項目

水道・工業用水道事業

No	事業名	所管課	ページ番号
1	水道事業の施設のあり方 (浄水場の設備更新ほか)	上下水道部経営企画課・計画担当・浄水管理課	2
2	工業用水道事業の施設のあり方 (配水場の設備更新ほか)	上下水道部経営企画課・計画担当・浄水管理課	3
3	管路の計画的更新と維持管理	上下水道部計画担当・水道建設課・水道維持担当	4
4	配水ブロック化 (市内配水エリアの整理)	上下水道部計画担当・水道建設課	5
5	鉛製給水管の解消	上下水道部お客さまサービス課・水道維持担当	6
6	応急給水拠点の充実	上下水道部お客さまサービス課・水道建設課	7

下水道事業

No	事業名	所管課	ページ番号
7	次期下水道ビジョン策定	上下水道部経営企画課・計画担当	8
8	下水道施設の改築更新 (老朽化対策)	上下水道部下水道建設課・施設課・浄化センター	9
9	浸水対策 (ポンプ設備改築実施設計ほか)	上下水道部下水道建設課・施設課	10
10	地震対策 (ポンプ場耐震補強ほか)	上下水道部下水道建設課・施設課	11
11	高度処理の推進 (浄化センター高度処理化)	上下水道部下水道施設課	12

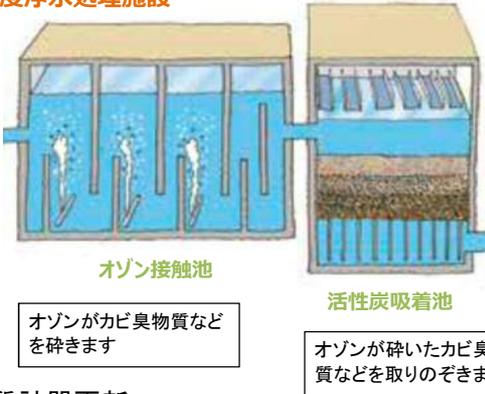
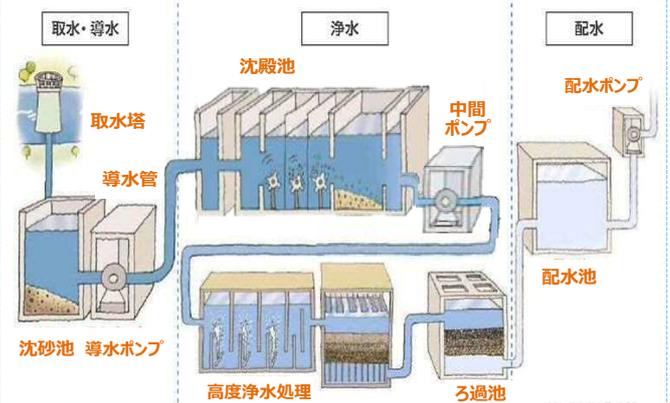
水道・工業用水道事業、下水道事業

No	事業名	所管課	ページ番号
12	広報・広聴 (ウォーターニュースあまがさき発行ほか)	上下水道部経営企画課	13

モーターボート競走事業

No	事業名	所管課	ページ番号
13	大規模施設改修事業	ボートレース事業部施設整備担当	14
14	電話投票売上向上事業	ボートレース事業部開催運営課	15

水道・工業用水道事業会計

事業名	水道事業の施設のあり方（浄水場の設備更新ほか）		
事業概要	令和3年度当初予算	令和2年度当初予算	令和元年度決算
<p>目的</p> <p>将来を見据えると、人口減少に伴う水需要の減少は続き、施設能力と水需要との乖離は広がっていくと考えられます。そのため、令和12年度以降に神崎浄水場を配水場化^{※1}することとし、将来の投資や維持管理費用の縮減を図ります。</p>	130,481千円	139,515千円	1,479,473千円 (平成30年度繰越額 1,029,681千円を含む)
令和3年度の内容	計画目標		
<p>【神崎浄水場】</p> <p>①再整備基本計画策定等業務委託 神崎浄水場の配水場化に向け、経済的かつ効率的な整備、運転管理について検討するために、再整備基本計画等の業務委託を行います。 委託は令和3、4年度にわたって実施します。 (債務負担額 74,077千円)</p> <p>②活性炭入替 高度浄水処理施設の活性炭吸着池で使用する粒状活性炭は、オゾン処理で分解されたカビ臭や有機物を取り除く働きをしており、5年に1回の入替が必要で、4池ある活性炭吸着池の内、令和3年度は2池を、残り2池を令和4年度に入替を行います。 (62,744千円)</p> <p>高度浄水処理施設</p>  <p>オゾン接触池 オゾンがカビ臭物質などを碎きます</p> <p>活性炭吸着池 オゾンが碎いたカビ臭物質などを取りのぞきます</p> <p>③水質計器更新 耐用年数を経過する機器の更新を行います。 (10,285千円)</p> <p>【野間ポンプ室】</p> <p>④弁類更新 経年劣化が激しい配水ポンプ用吐出弁と逆止弁等の更新を行います。 (57,452千円)</p>	<p>神崎浄水場の配水場化^{※1}にあたっては、市内への配水量のうち約9割を担っている阪神水道企業団からの受水量の削減に向けて取り組むとともに、水需要の動向も考慮し、施設整備を進めます。その施設整備については、官民連携を活用した、効率的で最適な方策を検討し、実施します。</p> <p>・今後の計画スケジュール</p> <p>令和3・4年度 神崎浄水場再整備の基本計画の策定 施設整備に係るPPP/PFI手法^{※2}の導入可能性の調査</p> <p>令和5・6年度 神崎浄水場を配水場化する時期の決定 神崎浄水場の具体的整備内容の決定</p> <p>令和7年度～11年度 神崎浄水場の再整備事業の実施</p> <p><各施設の役割></p> <p>取水、導水・・・水源から原水を取り入れ、浄水場まで導くための施設 浄水・・・水源から送られてきた原水を飲用に適するように処理する施設 配水・・・1) 応急給水に対応するための施設 2) 需要に応じて供給するための施設</p>  <p>取水・導水 取水塔 導水管 沈砂池 導水ポンプ 沈砂池 浄水 中間ポンプ 配水 配水ポンプ 配水池 高度浄水処理 ろ過池</p>		
備考			
<p>※1 神崎浄水場の配水場化・・・浄水場には、水道水を作る浄水機能と、その水道水を一旦溜（た）め供給する配水機能があります。水需要や人口の減少を踏まえ、将来の投資や維持管理費用を縮減するため、神崎浄水場の浄水機能を廃止しようとするものです。水道水は、現在の市内需要の90%を受水している阪神水道企業団からの受水に切り替え、配水機能を担う施設への改築等を行い、神崎浄水場を配水場化するものです。</p>			
<p>※2 PPP/PFI手法・・・PPP（Public Private Partnership）手法とは、公共施設等の建設、維持管理、運営等を行政と民間が連携して行うことにより、民間の創意工夫等を活用し、財政資金の効率的な使用や、良質なサービス提供などを図る手法です。 また、PFI（Private Finance Initiative）手法は、PPP手法の一類型で、民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律に基づき、公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用する手法です。</p>			

水道・工業用水道事業会計

事業名	工業用水道事業の施設のあり方（配水場の設備更新ほか）		
事業概要	令和3年度当初予算	令和2年度当初予算	令和元年度決算
<p>目的</p> <p>工業用水道の施設は、主に高度経済成長期の初期の増加する水需要に対応するため整備し、50年以上経過しているものが大半となっています。また、ユーザー企業の使用廃止に伴う給水収益の減少が続いている状況です。そのため、将来の施設のあり方について、他の事業体と連携して検討を行うなど、工業用水の安定した供給の継続を目指します。</p>	450,587千円	65,817千円	13,167千円
令和3年度の内容	計画目標		
<p>【園田配水場】</p> <p>①集中監視制御設備更新 園田配水場の集中監視制御設備は、工業用水の取水、浄水及び配水までを一元管理している設備です。当該設備は22年が経過し、部品の製造中止などを踏まえ、工業用水の安定供給を持続できるよう更新を行います。 当該設備は令和2年度から更新工事を行っており、3年度に完了予定です。 (382,604千円)</p> <p>②特高受変電棟屋根防水工事 耐用年数の経過及び劣化状況を踏まえ、改修を行います。 (15,008千円)</p> <p>【神崎浄水場】</p> <p>③工業用水配水ポンプ更新 神崎浄水場の工業用水を配水するための水中ポンプ1台の更新を行います。 (30,833千円)</p> <p>【一津屋取水場】</p> <p>④弁類更新 経年劣化が激しい導水ポンプ用吐出弁と逆止弁の更新を行います。 (22,142千円)</p>	<p>現在、本市の工業用水は、西宮市、伊丹市との三市共同施設である園田配水場と、尼崎市の施設である神崎浄水場からの配水形態となっており、これらの施設は老朽化が進んでいることから、今後、耐震化などの対策が必要な状況です。一方で、水道水の供給を受けている阪神水道企業団の猪名川浄水場施設の一部が余剰となることから、工業用水での活用の検討を他事業体と行っています。 今後は、将来においても工業用水を供給していくため、どのような施設の形態が安定的、効率的なのかを考慮し、将来の施設のあり方について、他事業体と連携して検討を行うなど、工業用水の安定した供給の継続を目指します。</p> <p>・今後の計画スケジュールについて 令和4年度 猪名川浄水場の活用方策の方向性の決定</p> <p>令和5・6年度 江口取水場 受変電設備及びポンプ設備等更新工事</p>		
備考	<p>◇阪神間における尼崎市の工業用水道施設の概況</p> <p>・一津屋取水場 <昭和43年に建設> 1企業団5市共同施設 (大阪広域企業団・大阪市・神戸市・尼崎市・西宮市・伊丹市)</p> <p>・江口取水場 <昭和37年に建設> 尼崎市工水の単独施設</p> <p>・園田配水場 <昭和43年に建設> 3市共同施設 (尼崎市・西宮市・伊丹市)</p> <p>・神崎浄水場 <昭和42年に建設> 尼崎市上水の施設を共同利用 平成14年から供用開始</p>		

水道・工業用水道事業会計

事業名	管路の計画的更新と維持管理		
事業概要	令和3年度当初予算	令和2年度当初予算	令和元年度決算
目的	1,837,989千円 水道1,588,438千円 工業用水道249,551千円	2,567,313千円 水道2,065,459千円 (令和元年度繰越額282,662千円を含む) 工業用水道501,854千円 (令和元年度繰越額21,000千円を含む)	1,583,608千円 水道1,407,437千円 (平成30年度繰越額418,326千円を含む) 工業用水道176,171千円 (平成30年度繰越額12,610千円を含む)
計画目標			
◎更新優先度の考え方			
重要度	平常時・非常時の水輸送機能、重要給水施設管路、災害復旧の困難度から評価		
老朽度	「ダクタイル鋳鉄管管体老朽度調査」で考案した土壌腐食予測式による老朽度ランクで評価		
耐震性	上町断層帯地震を想定地震とした被害想定による管路被害率で評価		
令和3年度の内容	◎水道事業 約11kmの配水管の更新工事を行い、基幹管路と重要施設に至る管路の耐震化を進めます。 また、本市において布設後60年近く経過し、最も口径の大きい配水管である10号配水本管の更新(第1工区)を実施します。 (1,588,438千円)		
<p style="text-align: center;">10号配水本管更新イメージ</p>			
◎水道事業ではビジョン期間中(令和2年～11年)に約100kmの配水管の更新を予定しています。そのなかで、基幹管路については国の目標値である耐震化率50%はすでに達成しており、さらなる向上を目指し、令和3年度は52.0%、重要給水施設に至る配水管の耐震化率は69.2%に向上させます。			
◎工業用水道事業ではビジョン期間中(令和2年～11年)に約6kmの配水管を更新を予定しています。そのなかで、基幹管路の耐震化率は令和3年度64.6%(目標69%)に向上させます。			

備考

※ 1 重要給水施設・・・災害時に重要な拠点となる病院や透析実施機関、指定避難所や防災拠点など、人命の安全確保を図るため、給水優先度が特に高い施設

※ 2 基幹管路・・・水を供給するうえで基幹的な役割を担う管路で、導水管と配水本管のことをさします。
(導水管・・・河川などから取水した原水を浄水場まで導く管路)
(配水本管・・・水道水を輸送分配する役割を持ち、口径300mm以上の配水管)

水道・工業用水道事業会計

事業名		配水ブロック化（市内配水エリアの整理）		
事業概要		令和3年度当初予算	令和2年度当初予算	令和元年度決算
<p>目的</p> <p>本市の配水システムは、配水管同士を市内全域で接続し「管網」を形成していることから日常的なバックアップ機能が存在するという利点があります。一方で「個々の管路の配水状況が不明瞭」、「大規模災害時の水圧低下が広範囲にわたる」、「北西部地域の災害時の水圧低下とその他地域の平常時の余剰水圧の発生」という課題があります。</p> <p>そこで、市内を20のブロックに分割する配水ブロック化に取り組みます。これにより、断水範囲の局所化及び迅速な断水解消に効果を発揮することとなります。</p>		84,875千円	-	2,502千円
令和3年度の内容		計画目標		
<p>○北西部地域ブロック化</p> <p>市内20ブロックのうち、標高が比較的高く阪神淡路大震災の際に断水解消が最後となった北西部地域については、災害時の配水圧を確保します。</p> <p>また当該地域は、野間ポンプ室からの配水が停止すると、配水圧が確保できなくなることから、他のエリアから供給が可能となるように自動制御にて開閉可能な電動式流量調節弁、流量計、監視制御盤等の新設工事を令和2年度に引き続き実施します。 (84.875千円)</p>		<p>配水ブロック化は大きく4つの項目に分けて進めていきます。</p> <p>①北西部地域ブロック化(系統ブロック化)(令和2、3年度) 本市は、4つの浄水場等から市内に配水しており、そのうちのひとつである野間ポンプ室から配水しているエリア(北西部地域)を配水ブロック化します。</p> <p>②大ブロック化(令和2年度～7年度) 地形や管網の状況をもとに市内を20の大ブロックに分割し、配水ブロック化を行っていきます。 この大ブロック化はブロック境界付近にある配水支管のバルブを操作することで実施します。</p> <p>③小ブロック化 標高が高くなっている北部地域においては配水ブロック化(大ブロック化)を行っても、そのブロック内において高低差が生じてしまうため、効果的な応急復旧を行っていくためには、さらにブロックを細かく小ブロック化していくことが必要となります。(小ブロック化は山手幹線より北の7ブロックを対象)</p> <p>④水圧監視機器の整備 各ブロック内水圧状況の把握のため、各ブロックに水圧監視機器を2箇所程度整備し、災害発生時の早期復旧にも役立てます。 整備にあたっては、監視場所の選定が重要となるため、配水ブロック化の状況に留意しながら実施します。</p> <p>これらすべての項目を着実に進めることで、配水ブロック化が災害に強い水道システムの一つとして機能することとなります。</p>		
<p style="text-align: center;">大ブロック化のイメージ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-left: auto; margin-right: auto;"> <p>■ … 令和2年度実施</p> <p>■ … 令和3年度実施予定</p> <p>■ … ブロック化済</p> </div>				
<p>※ 令和2年度のブロック化は上記図の「19」(実施済み)・「17」(12月実施予定)・「18」(1月実施予定)を実施しました。なお、「4」・「11」・「20」はすでに大ブロック化はされているため、合計で6か所の大ブロック化が完了しています。</p>				
備考				

水道・工業用水道事業会計

事業名 鉛製給水管の解消

事業概要	令和3年度当初予算	令和2年度当初予算	令和元年度決算
<p>目的</p> <p>鉛製の給水管は、柔軟性に優れ、施工が容易であることから、昭和58年4月頃まで給水管の材料として使用されてきました。</p> <p>しかしながら、漏水が多いこと、水道水が長時間滞留すると鉛成分が水中に溶け出し、鉛濃度が水質基準を超過する可能性があることから健康への影響も懸念されています。</p> <p>そのため、本市では公道部の鉛製給水管の取替工事を進めています。鉛製給水管の利用者に対しては個別通知による情報提供を行い、鉛製給水管の取替促進を目指します。</p> <p>さらに、漏水が多い鉛製給水管を解消することで、有効率*の向上にもつなげて参ります。</p>	147,508千円	137,325千円	130,952千円

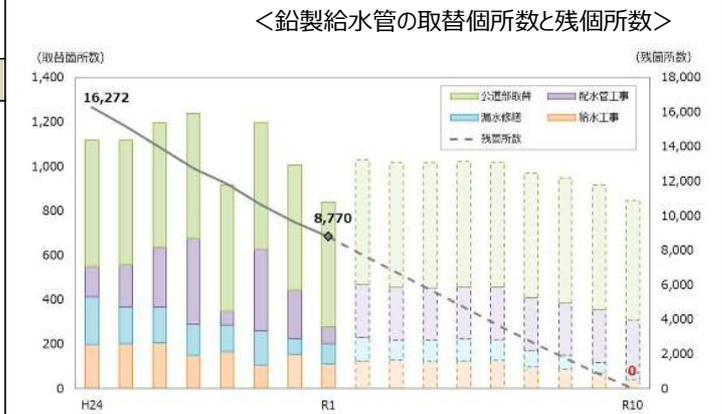
計画目標

- 公道部の鉛製給水管の取替工事
公道部の鉛製給水管については、ビジョン期間中の令和10年度の解消を目指し取り組みます。

令和3年度の内容

①公道部の鉛製給水管の取替工事
公道部においては、鉛製給水管の取替工事を実施するとともに、老朽配水管の更新工事や給水管の漏水修繕工事の際にもあわせて取替を行っています。
令和3年度は561か所の工事を実施します。
(143,646千円)

②鉛製給水管の個別通知
鉛製給水管を使用していることを各ご家庭(約6万件)に認識していただき、水道水を安心してご使用して頂くための情報提供を目的として、令和元年度から個別通知を行っており、令和3年度は12,000件へ送付します。また、個別通知によって、今後の建物の建替えや増改築工事等の際の参考にしていただくことで、鉛製給水管の取替を促進していきます。
(3,862千円)

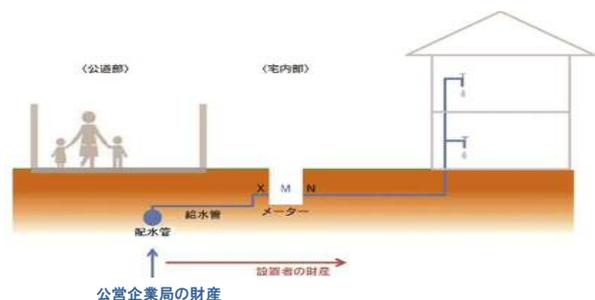


- 鉛製給水管の個別通知
すべての鉛製給水管利用者に対して、ビジョン期間中の令和6年度の通知完了を目指し取り組みます。
- 有効率の向上
鉛製給水管の解消や配水管の更新などにより、有効率を現在の約96%(令和元年度)から国の目標値である98%を目指します。

備考

◇鉛製給水管への対応
鉛製給水管に水道水が長時間滞留すると鉛成分が水中に溶け出し、鉛濃度が水質基準を超過し健康への影響も懸念されるため、尼崎市では平成12年度からは鉛の溶出で低減効果がある、水道水のpH調整 (pH7.5) を各浄水場において実施しています。

◇水道管等の財産区分
給水管はお客様の財産となっており、取替や修繕などはお客様の原則負担によって行っていただくこととなっています。



*有効率
浄水場から送られた水が途中で漏水することなく、どれだけ有効に利用できたかを示す指標を有効率といいます。

水道・工業用水道事業会計

事業名		応急給水拠点の充実														
事業概要		令和3年度当初予算	令和2年度当初予算	令和元年度決算												
目的		175,006千円	151,788千円 (令和元年度繰越額 17,285千円を含む)	21,573千円												
<p>災害時に給水を行う応急給水拠点は、既存の応急給水拠点に加えて、避難所となる小中学校や地域振興センター等において応急給水栓を69か所設置し、既存の耐震性緊急貯水槽7か所と浄水場3か所と合わせ、合計で79か所整備します。</p> <p>また、応急給水拠点のうち24箇所については、特に発災初期からの給水活動を確保するため、耐震化された配水本管と直結した応急給水栓を、全市域で市民の皆様の水の運搬距離がおおむね1km以内となるよう優先的に整備します。</p>																
令和3年度の内容		計画目標														
①応急給水拠点の整備		・応急給水拠点の整備箇所数と期間														
<p>応急給水拠点を19か所(うち配水本管と直結した応急給水栓は8か所)整備します。</p> <p>応急給水拠点の整備は、配水管分岐部から耐震管を布設し、給水栓を設置します。応急給水に使用する資機材については、ベンチ型の収納ボックスを設置するなど、現地に備蓄します。</p> <p>(170,481千円)</p>		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">応急給水栓(69か所)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>箇所数</td> <td>24か所予定</td> <td>45か所予定</td> </tr> <tr> <td>概要</td> <td>耐震化された配水本管から分岐した給水栓</td> <td>耐震化された配水支管から分岐した給水栓</td> </tr> <tr> <td>整備期間</td> <td>令和元年度～令和3年度</td> <td>令和2年度～令和8年度</td> </tr> </tbody> </table>				応急給水栓(69か所)		箇所数	24か所予定	45か所予定	概要	耐震化された配水本管から分岐した給水栓	耐震化された配水支管から分岐した給水栓	整備期間	令和元年度～令和3年度	令和2年度～令和8年度
			応急給水栓(69か所)													
		箇所数	24か所予定	45か所予定												
概要	耐震化された配水本管から分岐した給水栓	耐震化された配水支管から分岐した給水栓														
整備期間	令和元年度～令和3年度	令和2年度～令和8年度														
<p>②組立式給水タンクの整備</p> <p>停電や水質事故等により、応急給水栓が使用できない場合には、24か所の応急給水拠点(配水本管)に組立式の給水タンクを設置し、応急給水活動を行います。(整備期間:令和2・3年度) 令和3年度は8基購入します。 (4,525千円)</p>		<p>・応急給水拠点での訓練実施</p> <p>整備が完了した拠点については、整備後、できるだけ早く訓練を実施し、その後も定期的に訓練を行います。</p>														
 <p><応急給水栓とベンチ式倉庫(南武庫之荘中学校)></p>		 <p><応急給水訓練の様子></p>														
備考		<p>【令和元年度～令和2年度整備箇所】</p> <p>◇応急給水栓(本管)・・・16箇所 上坂部小学校・園和北小学校・南武庫之荘中学校・浦風小学校・大庄中学校・園田南小学校・園田北小学校・園田東小学校 竹谷小学校・明城小学校・下坂部小学校・武庫小学校・武庫東中学校・大庄北中学校・日新中学校・富松苗圃</p> <p>◇応急給水栓(支管)・・・10箇所 立花小学校・園田小学校・園和小学校・わかば西小学校・浜田小学校・難波の梅小学校・小田中学校・塚口中学校 武庫西生涯学習プラザ・清和小学校</p>														

下水道事業会計

事業名		次期下水道ビジョン策定										
事業概要		令和3年度当初予算	令和2年度当初予算	令和元年度決算								
目的												
下水道の効率的な整備と管理、安定的な経営を図るため、下水道の目指すべき方向性を示し、下水道事業への市民の理解と協力を得て、下水道が果たすべき役割や課題への取組を進めます。 <ul style="list-style-type: none"> ・現ビジョン：平成24年度～令和3年度 ・次期ビジョン：令和4年度～令和13年度 		24,154千円	1,446千円	11,550千円								
令和3年度の内容		計画目標										
次期ビジョンにおいて、下水道施設の建替えや災害への対策等を考慮した持続可能な下水道の方向性を示し、老朽化する施設の更新、大雨による浸水被害の低減、想定される地震に対する耐震化等の防災対策及び高度処理の推進等の取組について、「(仮称) 尼崎市下水道ビジョン2031」(期間：令和4年度～13年度)を策定します。		【課題】 <ul style="list-style-type: none"> ・下水道施設(管路、ポンプ場等)の老朽化 ・集中豪雨や大規模な地震など増加する自然災害 ・将来人口の減少等による財政運営への懸念 ・技術力の継承による事業運営体制の確保 ・市民が意識する不安や関心 										
【課題整理から考えた主な取組内容】 ① まちのくらしを支える取組 <ul style="list-style-type: none"> ・新たな更新手法の導入(ストックマネジメント)による将来事業量予測を活用し、効率的な下水道施設の更新を行います。 ② 災害から守り備える取組 <ul style="list-style-type: none"> ・近年の気候変動に応じた下水道施設の能力強化及びまちの貯留機能の向上に取組み、市民・民間事業者への下水道施設の積極的な情報発信を行います。 ・大規模な地震への備えとして、下水道施設の耐震化に加えマンホールトイレを設置、非常用トイレの備蓄などの自助の促進も図ります。 ③ 将来へ事業をつなげる取組 <ul style="list-style-type: none"> ・使用料収入の減少に応じたアセットマネジメントの実践を行います。 ・若手職員への技術継承や人材育成を行います。 ・下水道に関する自助・共助に繋がる情報発信を行います。 		【策定にあたっての考え方】 <ul style="list-style-type: none"> ・国が策定した「新下水道ビジョン」(国土交通省 平成26年7月)、「経営戦略」(総務省 平成26年8月)の視点を踏まえながら策定します。 ・今後の課題となる施設の改築需要や資金需要について、長期的な視点に基づきストックマネジメントによる将来100年間の事業量予測と、将来人口予測(40年間)による財政収支を踏まえ、直近10年間のビジョンを策定します。 ・策定にあたっては、「尼崎市公営企業審議会」(令和2年10月～令和3年11月予定)での審議及びパブリックコメントを踏まえ検討を進めます。 【審議会の開催予定】(令和2年度～3年度) <ul style="list-style-type: none"> ・公営企業審議会 6回開催 ・専門部会 3回開催 										
備考												
(仮称)尼崎市下水道ビジョン2031への課題と整理 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">現状と課題</th> <th style="width: 50%;">整理</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">施設の老朽化</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">良好な水環境の形成</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">環境負荷の低減</div> </td> <td style="text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">まちとくらしを支える取組</div> </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">増加する自然災害</div> </td> <td style="text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">災害から守り備える取組</div> </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">財政運営への懸念</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">事業運営体制</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">市民が意識する不安や関心</div> </td> <td style="text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">将来へ事業をつなげる取組</div> </td> </tr> </tbody> </table> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center; margin-top: 10px; color: red;"> 下水道を次の世代へつなげる </div>					現状と課題	整理	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">施設の老朽化</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">良好な水環境の形成</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">環境負荷の低減</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">まちとくらしを支える取組</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">増加する自然災害</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">災害から守り備える取組</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">財政運営への懸念</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">事業運営体制</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">市民が意識する不安や関心</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">将来へ事業をつなげる取組</div>
現状と課題	整理											
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">施設の老朽化</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">良好な水環境の形成</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">環境負荷の低減</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">まちとくらしを支える取組</div>											
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">増加する自然災害</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">災害から守り備える取組</div>											
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">財政運営への懸念</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">事業運営体制</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">市民が意識する不安や関心</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">将来へ事業をつなげる取組</div>											

下水道事業会計

事業名 下水道施設の改築更新（老朽化対策）

事業概要	令和3年度当初予算	令和2年度当初予算	令和元年度決算
目的	3,577,928千円	6,523,554千円 (令和元年度繰越額 1,478,884千円を含む)	3,705,970千円 (平成30年度繰越額 636,492千円を含む)
昭和28年の事業認可より建設した下水道管きよ、処理場（浄化センター）及びポンプ場は、老朽化しつつあります。これらの下水道施設の更新、建替えなどを尼崎市下水道ストックマネジメント計画に基づき進め、下水道機能の維持を図ります。			

令和3年度の内容	計画目標
----------	------

①管きよ改築、老朽管調査等
 老朽化の著しい管きよ5件の改築工事を実施します。また、令和4年度以降の工事実施に向け、管きよの老朽度を調査します。
 (2,024,566千円)



**管きよの改築更新
(平成21年度から実施)**

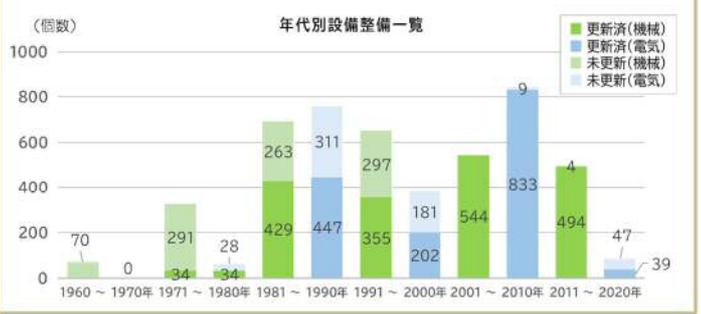
平成30年度までの実績	17.8 km
令和元年度実績	3.2 km
令和2年度実績(見込)	2.8 km
令和3年度予定	2.2 km
累計	26.0 km



②施設の改築等
 施設の機器の改築優先度が高いものについて、劣化診断を行い更新を行います。
 ・東部浄化センター自家発電設備改築工事
 ・中在家中継ポンプ場管理棟沈砂池機械・電気設備改築工事
 ・大庄中継ポンプ場管理棟流入ゲート改築工事
 ・大庄中継ポンプ場や東部雨水ポンプ場の用地整備に係る調査業務
 ・その他施設改築更新工事等
 (1,553,362千円)



● 処理場・ポンプ場の設備機器は、機械設備、電気設備合わせて**約5,500点**あります
 ● 設備の更新は、**約3,400点(約60%)**が更新済です



備考

○尼崎市下水道ストックマネジメント計画（令和元年度～令和5年度）
 平成28年度に国が創設した「下水道ストックマネジメント支援制度」に基づき策定したもので、下水道施設全体の中長期的な施設の状態を予測しながら維持管理・改築を一体的に捉え、計画的・効率的に管理することにより下水道施設全体のライフサイクルコストの低減を図るための計画です。

下水道事業会計

事業名		浸水対策（ポンプ設備改築実施設計ほか）																						
事業概要		令和3年度当初予算	令和2年度当初予算	令和元年度決算																				
目的		1,011,703千円	649,504千円 (令和元年度繰越額 533,647千円を含む)	495,077千円																				
<p>近年の都市型集中豪雨に対応するため、雨水整備水準を現在の6年確率降雨強度(46.8mm/h)から、国が示す中長期目標である10年確率降雨強度(51.7mm/h)へ引き上げ、下水道の雨水施設能力を1.4倍に増強することで、道路の溢水、浸水被害の軽減を図ります。</p>																								
令和3年度の内容		計画目標																						
<p>①武庫分区雨水貯留管整備(※1) 武庫分区において雨水貯留管の整備については、貯留管整備工事の詳細設計、発進立抗用地での事前整備を行います。 (386,170千円)</p> <p>②末端増補管整備(※2)（東部第1分区） 10年確率降雨に対して能力が不足する箇所についての下水道管を整備します。 (58,768千円)</p> <p>③雨水浸透管整備(※3)（立花町地内） 雨水浸透管を整備計画に基づき工事を行います。 (38,928千円)</p> <p>④雨水ポンプ(※4)能力増強 大庄中継ポンプ場及び栗山中継ポンプ場の雨水ポンプの雨水排水能力の増強工事を実施します。 (520,397千円)</p> <p>⑤その他整備費用 (7,440千円)</p>		<p>武庫分区雨水貯留管整備 令和3、4年度予定 詳細設計・用地の事前整備 令和5年度～10年度予定 立坑、本体工事</p> <p>末端増補管整備 (平成26年度から実施)</p> <p>■平成30年度まで ■令和元年度 ■令和2年度 ■令和3年度 ■残り</p> <p>対象箇所数 <全22か所></p> <p>雨水浸透管整備延長 (平成21年度から実施)</p> <table border="1"> <tr> <td>平成30年度までの実績</td> <td>2,655m</td> </tr> <tr> <td>令和元年度実績</td> <td>0m</td> </tr> <tr> <td>令和2年度実績(見込)</td> <td>280m</td> </tr> <tr> <td>令和3年度予定</td> <td>210m</td> </tr> <tr> <td>累計</td> <td>3,145m</td> </tr> </table> <p>雨水ポンプの能力増強台数 (平成26年度から実施)</p> <table border="1"> <tr> <td>平成30年度までの実績</td> <td>10台</td> </tr> <tr> <td>令和元年度実績</td> <td>3台</td> </tr> <tr> <td colspan="2">(令和2年度は令和3年度以降実施分の設計委託を実施)</td> </tr> <tr> <td>令和3年度予定</td> <td>2台</td> </tr> <tr> <td>累計</td> <td>15台</td> </tr> </table>			平成30年度までの実績	2,655m	令和元年度実績	0m	令和2年度実績(見込)	280m	令和3年度予定	210m	累計	3,145m	平成30年度までの実績	10台	令和元年度実績	3台	(令和2年度は令和3年度以降実施分の設計委託を実施)		令和3年度予定	2台	累計	15台
平成30年度までの実績	2,655m																							
令和元年度実績	0m																							
令和2年度実績(見込)	280m																							
令和3年度予定	210m																							
累計	3,145m																							
平成30年度までの実績	10台																							
令和元年度実績	3台																							
(令和2年度は令和3年度以降実施分の設計委託を実施)																								
令和3年度予定	2台																							
累計	15台																							
<p>②末端増補管</p> <p>③雨水浸透管</p> <p>④雨水ポンプ能力補強</p>																								
備考																								
<p>※1 『雨水貯留管』とは、雨天時に増加する雨水を既設下水道管から取り込むことで一時的に貯留し、浸水の被害を軽減する施設です。</p> <p>これまでの下水道 下水道の排水能力を超過する大雨は地上に溢れます</p> <p>貯留管を整備すると 下水道から雨水が地上へ溢れる前に貯留します</p>		<p>※2 末端増補管とは下水道の大きな幹線管きょから見て末端部分に位置する場所の下水道管を増径して入れ替えたり、既設管を補完するために新設管を整備をすることで、10年確率降雨に対する排水能力不足を補う施設です。</p> <p>※3 雨水浸透管とは、車道と歩道間のスペースに穴の開いた雨水用の特殊な管や柵を設置し、降った雨を地中に浸透させ、下水道本管に流れ込む雨水量を減らすことで、浸水被害の軽減を図る施設です。</p> <p>※4 雨水ポンプとは、下水道のポンプ場において、管きょを流下してきた雨水を、河川などの公共用水域に放流するためのポンプです。</p>																						

下水道事業会計

事業名 地震対策（ポンプ場耐震補強ほか）

事業概要	令和3年度当初予算	令和2年度当初予算	令和元年度決算
<p>目的</p> <p>大規模な地震が発生した後においても、ライフラインとしての下水道機能の維持を図るために、指定避難所として位置づけられている学校68校にマンホールトイレを整備し、その下流の管きよ等の耐震化を図ります。</p>	180,493千円	495,748千円 (令和元年度繰越額 235,744千円を含む)	231,066千円 (平成30年度繰越額 197,384千円を含む)

令和3年度の内容 計画目標

①マンホールトイレの設置
 避難所となる小学校の内6校にマンホールトイレを整備します。
 (116,327千円)



マンホールトイレ工事

②マンホールトイレ接続管きよの耐震性確保
 マンホールトイレから下流の管きよを優先して耐震診断を行い、耐震性能がない管きよの耐震補強を実施することで、マンホールトイレ整備箇所から終末処理場までの管きよの耐震性の確保を図り、マンホールトイレの効果を促進します。
 耐震診断費用（17,016千円）

③中継ポンプ場施設の耐震化
 尾浜中継ポンプ場の耐震補強工事と、令和2年度に引き続き富松中継ポンプ場の耐震補強工事を実施します。
 (47,150千円)



耐震化工事

マンホールトイレの整備

令和元年度実績	1か所
令和2年度実績(見込)	5か所
令和3年度予定	6か所
令和3年度へ繰り越し分	6か所
累計	18か所

施設の耐震化

平成30年度までの実績	10施設
令和元年度実績	2施設
令和2年度実績(見込)	0施設
令和3年度予定	2施設
累計	14施設

<年度別実施施設>

令和元年度 実施施設	中在家中継ポンプ場 高田中継ポンプ場
令和2・3年度 実施施設	富松中継ポンプ場
令和3年度 実施施設	尾浜中継ポンプ場

備考

○尼崎市下水道総合地震対策計画
 (計画期間:平成30年度～令和4年度)

1 耐震補強

- ・管路施設 … 防災拠点、避難所からの排水を受ける管きよ
- ・処理場・ポンプ場 … 耐震補強工事が必要な箇所

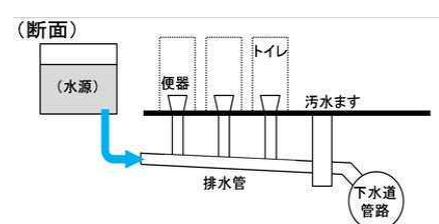
2 減災対策

- ・マンホールトイレ… 小学校25校（1校あたり6基程度）
 将来的には避難所として位置付けられた学校（68校）に整備予定

【平成30年度～令和2年度整備箇所】

- ◇マンホールトイレ … 6箇所
 武庫南小学校・難波小学校・清和小学校・大島小学校
 塚口小学校・園和小学校

※ 専用の下水道管を布設し、発災時は下水道管へ直接便器を接続し、テント等で囲うことで利用するトイレです。



下水道事業会計

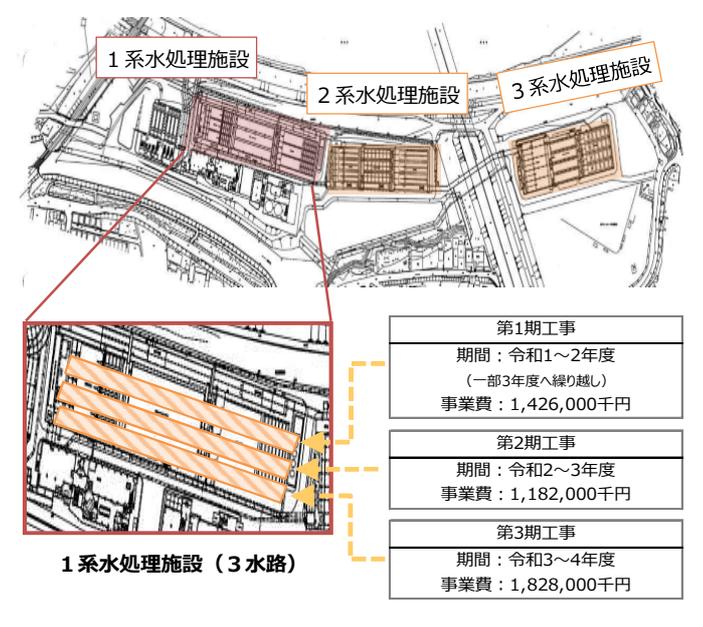
事業名 高度処理の推進（浄化センター高度処理化）

事業概要	令和3年度当初予算	令和2年度当初予算	令和元年度決算
目的	1,156,001千円	1,569,000千円 (令和元年度繰越額 481,000千円を含む)	777,000千円 (平成30年度繰越額 350,000千円を含む)
大阪湾の水質改善を図るため、下水処理施設である東部・北部両浄化センターに高度処理設備を導入し、富栄養化の原因となる窒素、リンの削減に取り組みます。			

令和3年度の内容 計画目標

○北部浄化センター1系水処理施設高度処理化
 北部浄化センターの1系水処理施設を窒素とリンが削減できる処理方式に改造する工事を実施します。
 (1,156,000千円)
 第2期工事 612,000千円
 第3期工事 544,001千円 } ※令和3年度分の事業費

北部浄化センター 総事業費：4,436,000千円



<北部浄化センター1系 工事の様子>

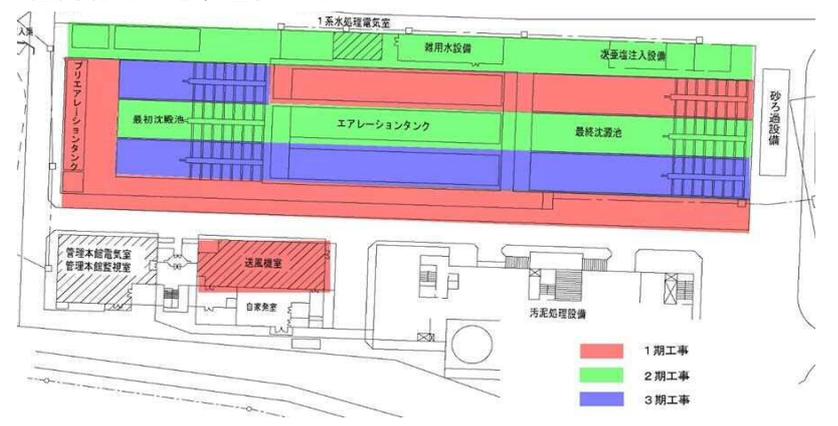
浄化センターではそれぞれ1系施設の高度処理化を進めています

施設	期別	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
東部浄化センター1系	1期	●	→								
	2期		●	→							
	3期			●	→						
北部浄化センター1系	1期							●	→		
	2期								●	→	
	3期									●	→

備考

◇高度処理化事業の概要
 東部浄化センターと北部浄化センターのそれぞれ1系列の水処理施設について、通常の下水処理に加え、窒素及びりんを安定的に処理できるように施設の改造工事を実施し、高度処理化を進めています。
 ※主な目標水質基準（1年間の平均で、窒素8mg/ℓ以下、りん0.8mg/ℓ以下）
 ※ 東部浄化センター1系水処理施設は令和元年度に完成済。

<北部浄化センター1系 工事イメージ>



水道・工業用水道、下水道事業会計

事業名	広報・広聴（ウォーターニュースあまがさき発行ほか）		
事業概要	令和3年度当初予算	令和2年度当初予算	令和元年度決算
目的	22,926千円 水道 12,767千円 下水道10,159千円	30,229千円 水道 21,881千円 下水道 8,348千円	19,390千円 水道 14,194千円 下水道 5,196千円
	計画目標		
	水道、下水道事業の現状を理解いただき、市民の皆様の身近で大切な存在に近づくことを目標に、より効果的で楽しむことのできる広報活動に取り組みます。		
令和3年度の内容	<div style="text-align: center; background-color: #0056b3; color: white; padding: 5px; font-weight: bold;">ウォーターニュースあまがさきの発行</div> 		
上下水道部という一体となった強みを活かし、「水の循環」という観点から広く市民の皆さまに水道と下水道の大切さを理解していただけるよう様々な取組を展開します。			
<p>①ウォーターニュースあまがさきの発行</p> <p>水道、下水道に関する情報を発信している広報紙「ウォーターニュースあまがさき」を継続して発行します。（年4回発行予定） 今後は下水道事業にも力を入れ、下水道の重要性や役割などについても市民の皆さまに知っていただける紙面構成に取り組みます。 （11,120千円）</p> <p>②水道、下水道を身近に感じていただくイベント</p> <p>神崎浄水場や北部浄化センターでの見学や催し等を通して、水道、下水道を知ってもらい、身近に感じていただくイベントを開催します。 （6,348千円）</p> <p>③マンホールカードの配布等</p> <p>下水道事業者の全国的な取組である“マンホールカード”の継続配布や新たなデザインマンホールを考案し、作成・設置を行うなど、下水道に関心を持っていただける取組を行います。 （2,347千円）</p> <p>④情報発信ほか</p> <p>災害情報や事業の内容について、ホームページでの情報発信やグッズ等を用い、施設見学や社会科学習での活用など啓発を行います。 （3,111千円）</p>			
備考	<div style="text-align: center; background-color: #0056b3; color: white; padding: 5px; font-weight: bold;">マンホールカード、情報発信ほか</div>  <p style="text-align: center;">マンホールカード 尼崎市給水車 チョロQ</p>		
令和2年度から新たに上下水道部となり、より一層の水道と下水道を連携させた広報を進めているところです。			

モーターボート競走事業会計

事業名 大規模施設改修事業

事業概要	令和3年度当初予算	令和2年度当初予算	令和元年度決算
目的			
新しいファン層を誘引できる魅力ある快適な施設環境の確保、来場者の実態に沿った施設のコンパクト化、周辺地域への貢献をコンセプトにモーターボート競走場内の大規模改修を行います。	626,914千円	2,276,142千円	387,258千円

令和3年度の内容計画目標

○大規模施設改修事業
 施設整備は、レースを開催しながらの施工となるため、全体工期は短い方が望ましいことから、設計と施工を一括して発注する「デザインビルド方式」を採用しました。
 令和3年度は、正門の新築を行い、ロータリー、駐輪場、駐車場、植栽帯の整備を予定しており、本事業のすべての完成を予定しています。

【令和元年度】
 設計を進めるとともに、メインスタンドの屋上防水及び外壁の改修、メインスタンド1階の改修、水面の擁壁改修を行いました。

【令和2年度】
 メインスタンド内の店舗や投票所の改修、屋外ステージの改修、西門の新築、不要建築物の解体等を行います。なお、解体する建物に含まれているアスベストについても除去を行いました。



<完成イメージ>

施設の課題を解消し、ボートレース事業を安定的に継続しつつ市財政に貢献するため、以下の方向性に基づいて施設の改修を進めます。

<事業スケジュール>

平成31年3月	～ 令和3年3月	大規模改修事業に係る設計
令和元年9月	～ 令和2年2月	屋上防水及び外壁の改修
令和元年11月	～ 令和2年3月	メインスタンド1階旧投票所の改修
令和元年11月	～ 令和2年11月	情報線迂回経路の構築
令和2年4月	～ 令和2年11月	メインスタンド内店舗の改修
令和2年9月	～ 令和2年10月	指定席及び投票所の改修
令和2年10月	～ 令和3年6月	西門・エキサイティングゾーンの建設
令和2年10月	～ 令和3年3月	屋外ステージ建設
令和3年3月	～ 令和3年10月	正門建設
令和3年4月	～ 令和4年2月	外構整備

※建物の解体は適宜実施します。

備考

モーターボート競走事業会計

事業名		電話投票売上向上事業																			
事業概要		令和3年度当初予算	令和2年度当初予算	令和元年度決算																	
目的																					
近年、利用者数が著しく増加し、総売上の約6割を占める電話投票(インターネット投票)での発売に重点を置き、利用者数の更なる拡大と定着、売上の向上を目指します。		132,098千円	63,834千円	56,894千円																	
令和3年度の内容		計画目標																			
<p>①YouTubeライブ予想配信事業 人気パチスロライターによるYouTubeライブ予想配信及びパチスロライター対決企画をボートレース尼崎のYouTube公式チャンネルから配信することで、公式チャンネルのチャンネル登録者数及び電話投票売上の増加を図ります。 (68,000千円)</p> <p>②電話投票キャンペーン事業 平成29年度よりサービスを開始したボートレース尼崎の電話投票会員クラブの運営とキャッシュバック等のキャンペーンを継続して実施します。 キャッシュバック開始時から会員数も増加しているため、サービス向上施策としてキャッシュバック総額を増額し、当選者の人数を増やします。令和3年度も、会員の特性や購買金額に応じたサービス展開を継続し定着化を図ります。また、新規会員獲得を目的として、WEBや本場での広報を強化します。 (42,441千円)</p> <p>③ピットレポート配信事業 昨年度10月より事業を開始し1年が経過しました。令和2年10月より電話投票購入者向けに本場映像のYoutubeのライブ配信を開始しています。今後は、利用者へのアンケート調査などに基づき、利用者が求めるより質の高い情報を提供できるよう検討を進めます。 (21,657千円)</p>		<p>○ 事業実施効果目標額:電話投票売上約15.2億円増加</p> <p>(参考) 電話投票1日平均売上(GII以上を除く)の推移及び予算額 (単位:千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">電話投票売上</td> <td>予算額</td> <td>55,340</td> <td>66,888</td> <td>106,088</td> <td>122,956</td> </tr> <tr> <td>実績額</td> <td>70,395</td> <td>88,725</td> <td>123,698</td> <td>193,053</td> </tr> </tbody> </table> <p>※令和2年度の実績額は決算見込額。 ※令和2年度下半期の売上げについては、新型コロナウイルスの影響により不透明であるため、令和3年度売上げは今後の動向を見極めたくえで予算計上していきます。</p>					H29	H30	R1	R2	電話投票売上	予算額	55,340	66,888	106,088	122,956	実績額	70,395	88,725	123,698	193,053
		H29	H30	R1	R2																
電話投票売上	予算額	55,340	66,888	106,088	122,956																
	実績額	70,395	88,725	123,698	193,053																
備考		